

退任の挨拶

甲斐 繁利

前任者を代表して一言ご挨拶申し上げます。私は、4月1日付で航海訓練所に復帰し、練習船銀河丸に次席一等航海士として乗船しました。

2年前の4月5日、海王丸の回航から財団での勤務が始まりました。穏やかな日でしたが、突然立山連峰が眼前に現れ、とても感動したのを覚えています。振り返ると、海洋教室で夜通し騒ぐ子供たちに悩まされながらも、なんとなく嬉しかったこと、総帆展帆の際、ボランティアの皆さんのにこやかな笑顔に励まされたこと、あるいは、養成訓練の際、少し無理をしてあとで反省したことなど、いろんなことが次から次に思い出されます。本当に楽しかったの一言に尽きます。この2年間、いろいろな自分を支えていただいたボランティアの皆さん、そして財団の皆さんに改めてお礼申し上げます。

既に2回の総帆展帆をこなし、チームワークも固まったことと思います。パークには鳥の声や、遠足の子供たちの姿が見える頃でしょう。このすばらしい空間を一人でも多くの人に楽しんでいただくため、今年もご協力を願います。最後に、皆様のご健康と安全なる総帆展帆を祈念してご挨拶とさせていただきます。

練習船乗船中の元財団職員への郵便物の宛先について、ご連絡いたします。

〒104

東京都中央区勝どき五の八の十四
運輸省航海訓練所乗船事務室気付

甲斐繁利 銀河丸、次席一等航海士
水落昌直 北斗丸、操機次長
種市晴彦 日本丸、甲板員
佐久木勝巳 海王丸、甲板員

なお、各船の東京停泊期間は次のとおりとなっております。

銀河丸	06/25	07/07
北斗丸	06/30	07/22
日本丸	07/07	07/17
海王丸	06/06	06/12

着任の挨拶

業務係長 市川 義文

ようやく暖かくなり始め、心地よい季節に入ろうとしている今日この頃ですが、皆様いかがお過ごしでしょうか。はじめまして、今年度からお世話になります。前任者ほど有能ではありませんが、今はまだまだ新しい仕事の内容にただ追われていくだけの状況です。精一杯頑張りたいと思っております。よろしくお願いたします。

私は、実習を新日本丸で行い、旧船を知らずに船乗りになりました。航海訓練所に入所後もこの海王丸の最後の航海に間に合わず、新海王丸の処女航海から乗せていただくことになりました。ですから、たとえ動いていなくても、この海王丸に乗船勤務できることは歴史を感じることで、貴重な体験と喜んでいきます。帆船には5年ぶりの乗船で、多少の違いもあり、最初は戸惑いましたが、もうすっかり感覚を取り戻したものと自分自身で勝手に納得しています。

ボランティアの方々には、船という特殊なものにいろいろな疑問等をお持ちのことだと思いますが、この紙面を大いに利用していきたいと考えています。新たな試みにもどんどんチャレンジしていきませんが、安全第一と皆様との融和をモットーにやっております。今後ともご協力をお願いいたします。

総務課主事 油谷 陽平

この春4月1日付の人事異動で、新湊市役所港湾課から海王丸記念財団へ派遣されてまいりました。

就職以来、当財団が初めての異動先であり、以前の税務課勤務の頃とは仕事の内容も激変し、不慣れなこと連続で、毎日緊張の糸が途切れることはありません。

現在、周囲の方々のお励みに支えられて勤務させていただいておりますが、自分自身も、ボランティアの皆さんをはじめとして、海王丸に関わる全ての方を陰ながらサポートできるように、精一杯頑張りたいと思っております。今後ともどうぞよろしくお願いたします。

業務課 本間 幸弘

4月より、水落氏の後任としてお世話になっております。

現役の頃の海王丸には、5年間乗船してまいりました。8年ぶりの再会で懐かしさを感じます。

(財)帆船海王丸記念財団およびボランティアの皆様、これからもよろしくお願いたします。

上げます。

業務課 新ヶ江 俊之

4月から、海王丸でお世話になることになりました。新ヶ江俊之と申します。今年度、船員生活も8年目になります。初めての陸上勤務、一人暮らしと戸惑いもありますが、この富山の生活を思い出して、楽しんでおもうと思っています。熊本から来た私にとって、こちらの冬が心配ですが、スキーやスノーボードなどを覚えたいと思っております。皆様方に多々ご迷惑をかけると思っております。どうぞよろしくお願いたします。

業務課 大西 修司

はじめまして。海王丸記念財団で勤務することになりました。大西修司です。初めての陸上勤務、また雪国での生活、期待と不安でいっぱいですが、これからいろいろなことがあると思っております。頑張りたいと思っております。よろしくお願いたします。

「ボランティア」からのお知らせ

① 海洋講座のお知らせ
日本海交流センター第一研修室にて、以下の4講座が開催されます。

◆ 講座内容
六月一日(日) 十二時三十分から
「富山湾の灯台」
伏木海上保安部 灯台課長 山北幸三氏。

六月二十二日(日) 十二時三十分から
「海を渡る虫たち」
富山医科大学助教授 上村清氏

八月十日(日) 十二時三十分から
「沿岸の鳥 里の鳥」
(臨海野鳥園の鳥たち)
パードマスター 松岸得之助氏

九月十四日(日) 十二時三十分から
「港の作業」
株式会社 伏木ボートサービス
社長 中澄子氏

◆ 帆船「海星」について
平成九年度 地球人航海97 特別航海
第八回 六月八日(日) 十時から十六時
横浜港にて、ハンディキャップを持つ方、および一般の方対象

◆ 第九回 六月十七日(火) 十一時から六月十九日(木) 十六時まで三日間 横浜港乗下船。在日外国人の方、および一般の方対象

◆ 第十回 六月二十一日(土) 十一時から六月二十八日(土) 十一時まで八日間、横浜乗船、父島下船
六月三十日(月) 十一時から七月七日(日) 十一時まで八日間、父島乗船、横浜下船(往復コースも可能)。十五歳以上の一般学生対象

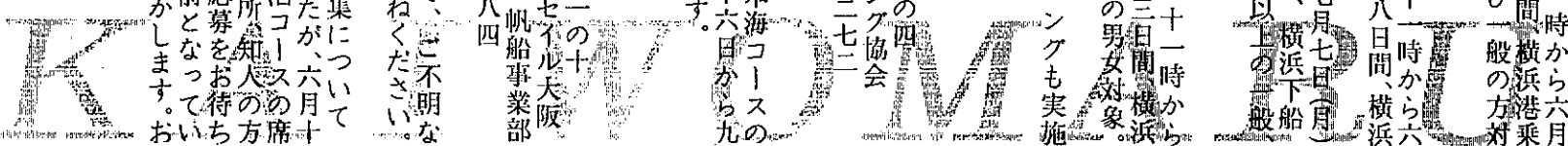
◆ 第十二回 七月十六日(水) 十一時から七月十八日(金) 十六時まで三日間、横浜乗船、東京下船。十五歳以上の男女対象
その他一般のセイルトレーニングも実施されます。

お問い合わせ、申し込み先
〒113
東京都文京区本郷一の十四の四
(財)日本セイルトレーニング協会
〇三(三八一八)六二七二

③ 帆船「あこがれ」について
「翔け夢みなど」瀬戸内・日本海コースのセイルトレーニングが七月二十六日から九月五日の間で十四回実施されます。

お問い合わせ、申し込み先
〒559
大阪市住之江区南港北二の一の十
ATCビル06s636 セイル大阪
(財)大阪港開発技術協会 帆船事業部
〇六(六一五)五三八四

④ 主催事業で行う海洋教室の募集について
第三十八号でお知らせしましたが、六月十四日(土)・十五日(日)の宿泊コースの席がたくさん空いています。ご近所知人の方々が誘い合わせのうえ、多数の応募をお待ちしております。締め切りは二十日前となっておりますが、一週間前まではなんとかします。お早くお願いたします。



船輪

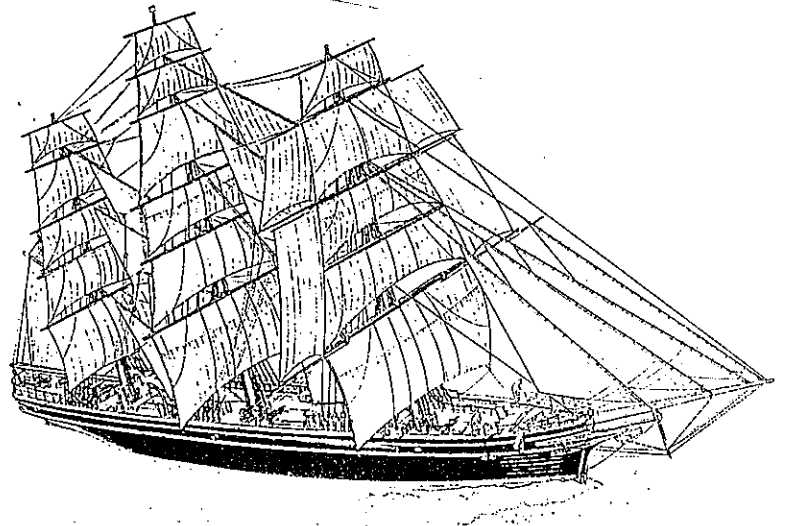
チヨンサの豆知識

4月から5月にかけて、「セイル大阪」が開催され、ちよんさとした帆船ブームが沸き上がりました。

今回は、これを機にかつての名船「カティサーク」について触れてみます。

皆さんの中には「カティサーク」と耳にするかウイスキーの銘柄かなと思われ方もいることと思います。ウイスキーの黄色いラベルには「カティサーク」の帆船が印刷されていますね。「カティサーク」は一八六九年イギリスで建造された帆船で、非常に性能の良い高速帆船でした。主に中国、イギリスの中国茶輸送を目的に建造されたため、ティークリッパと呼ばれる意味ですが、貨物積載能力よりも速力に重点を置いた帆船で、語源は「速く動く人」という意味から来ています。そもそも、監視船に捕まらないうような密輸船として建造されたのが「クリッパ」なのです。

さて、本題の「カティサーク」ですが、全長八五メートル、帆の枚数三四枚、帆の面積は三〇四七平方メートルもある帆船でした。どの程度の速力があったかは調べていませんが、海王丸の全長九七メートル、帆の枚数二九枚、面積二〇五〇平方メートルと比べるとおそろしく一五ノット程度の速力であったと思います。しかし当時は、汽船が帆船に比べてかわる時代であり、スエズ運河の開通により中国茶の輸送はその座を汽船に奪われたため、「カティサーク」はわずかに航海で「ティークリッパ」としての使命を終えました。その後、オーストラリアの羊毛を運ぶ「ウルクリッパ」として活躍しましたが、一九三八年テムズ航海学校へ寄贈され、一九五三年にはカティサーク保存協会へ寄贈されました。現在はグリニッジの乾ドック内で海王丸同様、博物館として公開されています。ちなみに「カティサーク」とは魔女が着ていた短い下着の名前だったそうです。かかつての名船「カティサーク」のことを思いながらグラスを傾ければ、一段と美味しいお酒になるかも知れませんね。



春の朝の快晴

284 原井節子

春の朝、空を見上げる私の心は暗かった。悪魔のささやきが聞こえてきたのである。「今回で最後の挑戦にするから是非参加してネー！」弾んだ声が憎らしくさえる。「アア、その声に何度乗せられたことよ。今度こそ、今度こそはと挑戦を繰り返して来た今までの事が頭に浮かび、重い腰を上げたものの気持ちはいま一つ盛り上がらないままに収録当日はやってきた。(周囲のみんなにはさすがに言えなかったデス。)

挑戦すること何回目(う)かのクイズ番組「グイズ フォーカス・イン」である。スタジオ風景も、おかげですっかり熟知してしまっている私達「海王丸大」好きチームに挑戦する相手は十代の高校生グループである。スタジオ入りした途端、何台ものライトで熱気ムンムン。軽いウォーミングアップのりハールが行われたが、若さに押され気味で少々面食らう。これではまた恥の上塗り。と気持ちを切り換えて本番に挑む。スタートからうまくトントン拍子に正解を重ねたが

残り難関の早押しのみとなる。しかしラッキーなことには相手チームは自滅と相成り念願の優勝は我がチームに。後はゆつくり答えを出せばいい。はやる気持ちをおさえてリーダー自らスイッチオン！ついに勝利の女神は私たちに微笑んでくれたのである。

思えば長い道のりだった。3度目の正直もならず、4度目にして初めて私たちのメイクドラマはパーフェクト賞というおまけつきで完成したのである。

テレビ局を出るとき足の軽いこと！全員狂気の舞い上がり状態で夜の巷へ繰り出したことは言うまでもない。この夜の勝利の美酒は格別にわれわれを酔わせてくれた。いまだに思い出したら思わずニンマリしてしまう自分である。

海王丸を通して知り合った仲間が、また一段とかたうい絆で結ばれたと感じたのは私だけかしら。勝利の嬉しさにも増してそれが何より嬉しい私である。

私は新湊市にて小学校、中学校を卒業しました。私が幼い時、新湊市内に商船高等専門学校がありました。その商船の生徒さんが現在の万葉線の電車にて富山市、高岡市へも遊びに行かれたものです。その電車の中で、白い学生服を着た商船の生徒が、私達の憧れの人でした。電車の中、または道ですれ違う時、生徒同士の挨拶「敬礼」が私達の幼い心を活気立たせたものです。

その憧れの商船には、私は入学できませんでしたが、でも、私の娘が商船高等専門学校情報工学科に入学し、卒業してくれました。また、今年のミス新湊クイーンとなり、父の展帆ボランティアをも宣伝してくれることとなりました。

今、今日、元気で「海の貴婦人」帆船海王丸で展帆ボランティアができるのも、みんな、より多くの皆様の御陰様だと感謝しております。

私も元気な体で居られる間、展帆ボランティアに参加します。

展帆ボランティアの皆様
帆船海王丸に帆を展げ、より多くの人に美しい海王丸を見ていただき、美しい、楽しい、新しい夢を与えて上げようではないでしょうか。

それでは、皆様 ごきげんよう……。

展帆デー

- ◆月日◇天候◇参加者◇その他
- ◆04/27◇晴◇八十五名◇ポストタックン
- ◆1フアッパード◇技術講座(カスケットの取扱)
- ◆05/05◇曇◇六十五名◇スターボードタック
- ◆3枚(ロアトップスル、アッパトップスル、ロアゲルンスル)、縦帆はガフトップスルを除く全て◇技術講座(カスケットの取扱)

投稿大募集

ボランティアの皆さんからの寄稿をお待ちしています。近況報告、旅行の話、詩俳句、質問、お知らせ等なんでも結構です。とんどんお寄せください。お待ちしております。

あごさ

ここ数日急に日が長くなったように感じます。日中の暑さも日増しに厳しくなり、冬から一気に夏へと感ずる感じがします。初めての編集にあたりまだまだ要領を得ませんが、回を重ねることに充実できるような努めをします。ご感想等率直なご意見をいただければ、それだけ成長できると思っております。長い目で見てください。応援してください。総帆展帆でお会いしましょう。

